

📍これまでの駅周辺まちづくり部会にていただいた様々なご意見

《こんなまちにしたい》

- ・人口が増えた今こそ、車社会との共存を検討すべき。
- ・千川通りも中村橋の特徴的な場所である。
- ・車いすにやさしく安全なまちにしたい。
- ・人にやさしく、歩行者に安全な、ウォークアブルなまちにしたい。
- ・美術館をもっと身近に感じられ、アートを感じられるまちにしたい。
など

《こんなものが必要だ》

- ・中村橋駅の美術館口を整備してほしい。
- ・交通広場、タクシールールの整備を進めてほしい。
- ・子供たちが自由にアートに触れられるような、子供のためのスペースが増えるようにしたい。
- ・補助133号線が整備されるときは、バスベイなどを考慮した整備が必要だ。
など

《こんなところが課題だ》

- ・商店街の店舗数が減っている。
- ・千川通りはバスや自動車の通行が多く、歩行者にとっては歩きにくい。
- ・補助133号線が整備されると、道路の反対側とのコミュニケーションが難しくなり、町会が分断されることが心配だ。
- ・駅前にロータリーがない。
など

《こんなことをやってみてはどうか》

- ・中村橋の歴史を知ることができる仕掛けや展示ができる場所を。
- ・商店街のお店などに埋もれたお宝を探し「お宝マップ」を作ってみてはどうか。
- ・銭湯、暗渠など水をキーワードとして楽しめるまちにしてはどうか。
- ・サンライフ北の都営住宅の広場もまちづくりに取り込んでどうか。
- ・商店街の歩行空間を広くし、車の通行を少なくしたい。
など

令和5年度 駅周辺まちづくり部会の検討内容

◆駅周辺まちづくり構想の骨子(案)

これまでのまちづくり



- 【中村橋駅南口地区地区計画】H16年度
《実 現》南口駅前広場の整備など
- 【中村橋駅周辺交通バリアフリー基本構想】H16年度
《実 現》美術館、駅周辺区道のバリアフリー、
一方通行規制など
《未完了》中杉通り無電柱化、バスルート変更など
- 【中杉通り沿道まちづくり構想】H21年度
《実 現》カラー舗装(一部)、
積極的な情報発信やイベントなど
《未完了》回遊性の向上、無電柱化など
- 【中村橋駅北口地区地区計画】H24年度
《実 現》美術の森緑地の再整備

今後のまちの変化



- 美術館のリニューアル
- 補助133号線南側の整備
- 補助133号線北側の整備
- 中杉通りの移管

今後のまちづくりの課題

- バス路線の改善
- 133未開通部分沿道まちづくり
- 中杉通りのあり方
- アートを感じられるまち
- ⋮

令和5年度はこの課題について議論を実施（議論の内容は次ページ）

令和6年度以降、これらの課題について議論実施予定。

令和5年度 駅周辺まちづくり部会の検討内容

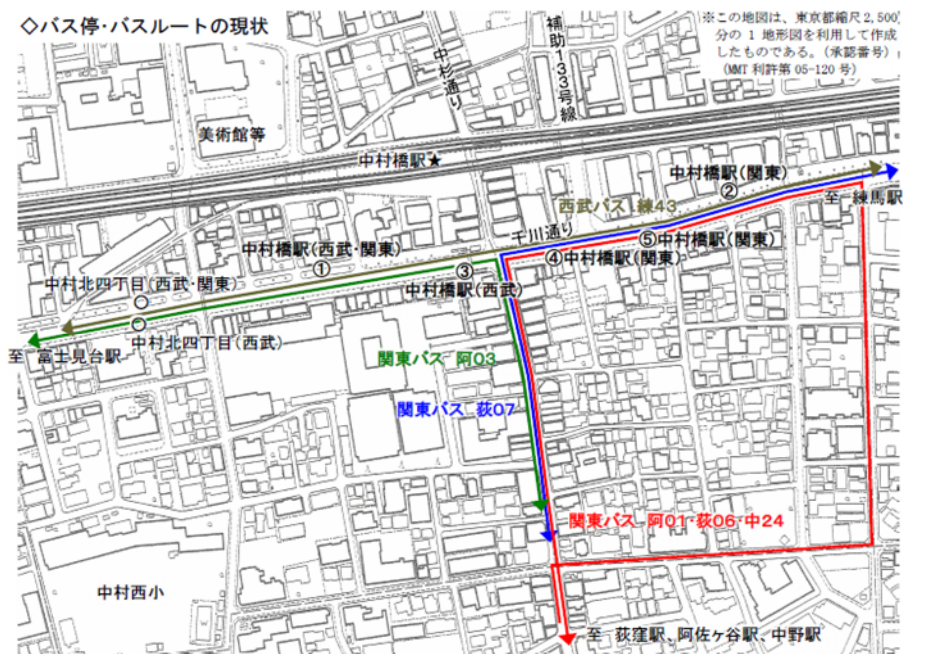
◆課題「バス路線の改善」について

課題の概要

中村橋駅周辺には、ここを始発・終点とするバス路線が3路線運行されているが、車両の転回を行える交通広場がない。このため、中杉通りや住宅街の狭い道を通して転回することとなり歩行者に危険な状況である。

また、3路線(※)の運行本数は1日227本(平日)におよび、多数の乗降客を捌くためにバス停が分散して設置されている。分散されたバス停が分かりにくいとともに、一部のバス停は駅から遠く、利用者に不便な状況である。 ※関東バス 阿01・荻06・中24

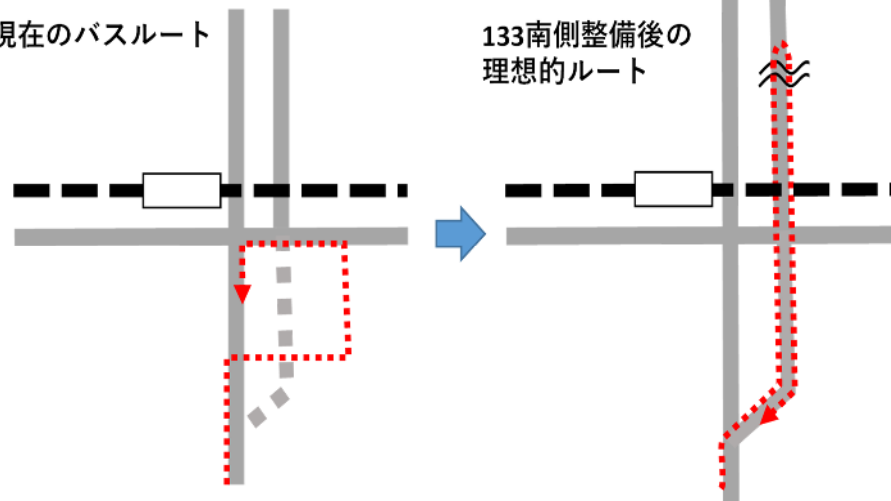
◇バス停・バスルートの現状



部会における議論の内容

- ・ 現在のルートは、課題はあるが過去に様々なルートを検討した結果採用されたものである。
- ・ 既存の道路で課題を解決するバスルートやバス停位置の変更は困難。
- ・ 補助133号線千川通り南側が整備された際は、ここを通り、この道路上で転回するルートが理想的。

現在のバスルート



133南側整備後の理想的ルート

- ・ 道路整備が進んだ際に理想的ルートを選択できるよう、必要な用地等を確保できるとよい。
- ・ 補助133号線目白通り北側が整備された際は、中村橋を始発・終点としないルートへの変更も考えられる。